

小説文 類出語句

入試の小説文や物語文によく出るテーマと語句のまとめ

【最頻出語】（一覧表）【物語文・小説文】

うとましい

いやで遠ざけたい。邪魔に感じる。

情けない

思いやりがない。無情（人に冷たい）。

いたたまれない

その場にとどまっていられないほどつらい。

思いやる

相手の気持ちになって親切にせつする。

理不尽

横暴であつたりして、道理（理屈）に合わない。

恥ずかしい

失敗などをして、人に顔むけできない。

おろかさ

未熟であること。ばかげていること。

無念だ

非常に悔しく思う気持ち。

やるせない

自分に負い目を感じ、やましくてつらい。

緊張

こころが張りつめた状態にあること。

なつかしい

昔を思い出し、こころが引かれる。

とまどう

どうしてよいかわからずにあせる。

勇気

困難に立ち向かい恐れないこころ。

いやしい

ひきょうで下品であること。

自負心

自分を誇りに思う強い気持ち。

【頻出テーマ】(物語文・小説文)

集団と個人／他人(他者)と自分(自己)

日本にはいまだに、同じ**価値観**(考え方)や**慣習**(ルール)でしぼられた集団である**共同体**(血族や村)から**異質なものを排除**する文化が根づよく残っている。それは、**いじめ**の根本的な原因となっている。

しかし、人は共同体に**所属**していなければ、ひとりひとりが、**孤独**に切り離されたままになってしまう。

そこで、ひとりひとりが**自由**で**平等**である**個人**からなる新しい**つながり**で社会をつくっていく必要がある。

そのためには、人はそれぞれが**多様な価値観**をもっていることを認め、**個人**を**尊重**しなければならない。

また、すべての人間は、それぞれが**個性**や**自分らしさ**をもって生きる**権利**がある。

自分が理解できない世界や人間について、**想像力**をはたらかせることが大切である。

また、自分が他の人間と違う行動や考えをもっている、それが**正義**であるという**信念**があるのであれば、

集団からの**圧力**や**権力**に屈しない**誇り**や**自負心**をもつことも大切である。

そして、自分らしく生きるということは、しばしば、**個人**を**葛藤**させる(悩ませる)。

つまらない**思い込み**や**自己主張**で、他人の**優しさ**や**思いやり**を**ふみにじり**、**ないがしろ**にしてしまうことがある。

もし、自分が間違っていたと気づいたなら、**自分のおろかさ**を**悔やみ**、考えを改める必要がある。

このように、自分の考えを**主張**するには当然、**個人の責任**というものがついてまわるし、

他の人々とのような**関係**をもっているかということも大切になってくるのである。

【頻出テーマ 問題】

集団と個人／他人(他者)と自分(自己)

日本にはいまだに、同じ() (考え方)や() (ルール)でしぼられた集団である() (血族や村)から

() (なものを) () (する文化が根づよく残っている。それは、() (の根本的な原因となっている。

しかし、人は共同体に() (していなければ、ひとりひとりが、() (に切り離されたままになってしまう。

そこで、ひとりひとりが() (で) (である) () (からなる新しい) () (で社会をつくっていく必要がある。

そのためには、人はそれぞれが() (をもっていることを認め、() (を) () (しなければならぬ。

また、すべての人間は、それぞれが() (や) () (をもつて生きる) () (がある。

自分が理解できない世界や人間について、() (をはたらかせることが大切である。

また、自分が他の人間と違う行動や考えをもっているとしても、それが() (であるという) () (があるのであれば、

() (からの) () (や) () (に屈しない) () (や) () (をもつことも大切である。

そして、自分らしく生きるということは、しばしば、個人を() (させる(悩ませる)。

つまらない) () (や) () (で、他人の) () (や) () (を) () (を) () (にしていることがある。

もし、自分が間違っていたと気づいたなら、自分の() (を) () (、考えを改める必要がある。

このように、自分の考えを() () (するには当然、() (の) () () (というものがついてまわるし、

他の人々とのような) () (をもっているかということも大切になってくるのである。

【頻出語】(物語文・小説文)

- 問一 外国や都会から来た人間を異質な存在としてうとましく思う気持ち。
- 問二 異質な人間を排除し、いじめに加担した自分を見じめで情けなく思う気持ち。
- 問三 いじめで傷ついた人間を見て、いたたまれない気持ち。
- 問四 弱者をいたわり、相手に思いやりをもって気を配っている(配慮している)。
- 問五 下劣で理不尽な要求に負けずに、立ち向かっていった自分を誇らしく思う自負心。
- 問六 相手の好意をないがしろにしてしまった恥ずかしさ。
- 問七 つまらない劣等感やねたみから相手を傷つけてしまった自分のおろかさを悔やむ気持ち。
- 問八 救えたかもしれない命を自分のせいで失ってしまった無念さから、自分をにくみ、やるせなさを感じている。
- 問九 隠していた秘密が見つかり、緊張から何も言い出せず、後ろめたい気持ち。
- 問十 美しい風景に感動し、故郷を思い出したことによるなつかしい気持ち。
- 問十一 予期せぬ恐怖に見舞われ、慌ててしまい、とまどう気持ち。
- 問十二 集団からの圧力に勇氣をもって屈しない強い自負心。
- 問十三 人に嘘をつき、だまし、相手をおとしめようと考えてるいやしい気持ち。
- 問十四 目の前で人が傷つけられているのに、救えなかったという無念な気持ち。
- 問十五 人から優しい言葉をかけられたが、その思いをふみにじり、ないがしろにする気持ち。

【頻出語 問題】

- 問一 外国や都会から来た人間を（ ）な存在として（ ）思う気持ち。
- 問二 異質な人間を（ ）し、いじめに加担した自分を（ ）で（ ）思う気持ち。
- 問三 いじめで（ ）人間を見て、（ ）気持ち。
- 問四 弱者を（ ）相手に（ ）をもって（ ）。
- 問五 下劣で（ ）な要求に負けずに、立ち向かっていった自分を（ ）思う（ ）。
- 問六 相手の好意を（ ）にしまった（ ）。
- 問七 つまらない（ ）や（ ）から相手を傷つけてしまった自分の（ ）を（ ）気持ち。
- 問八 救えたかもしれない命を自分のせいで失ってしまった（ ）から、自分を（ ）（ ）を感じている。
- 問九 隠していた（ ）が見つかり、（ ）から何も言い出せず、（ ）気持ち。
- 問十 美しい風景に（ ）し、故郷を思い出したことによる（ ）気持ち。
- 問十一 予期せぬ（ ）に見舞われ、（ ）しまい、（ ）気持ち。
- 問十二 （ ）からの圧力に（ ）をもって屈しない強い（ ）。
- 問十三 人に嘘をつき、だまし、相手を（ ）と考える（ ）気持ち。
- 問十四 目の前で人が傷つけられているのに、救えなかったという（ ）気持ち。
- 問十五 人から（ ）言葉をかけられたが、その思いを（ ）（ ）（ ）気持ち。

【頻出語解釈付き問題】(物語文・小説文)

【問題】

次の問いのかつこにあてはまる語句をそれぞれ書きなさい。

問一 外国や都会から来た人間を(ア) 　　　　　(イ) な存在として(イ) 　　　　　(イ) 思う気持ち。

ア 性質が均一ではないこと。転じて、価値観が同一な多数派(マジョリティ)に対する少数派(マイノリティ)を指している。
イ いやで遠ざけたい。邪魔に感じる。

問二 異質な人間を(ウ) 　　　　　(ウ) し、いじめに加担した自分を(エ) 　　　　　(エ) で(オ) 　　　　　(オ) 思う気持ち。

ウ 徹底的に取り除くこと。転じて、自分たちの価値観に合わない人間を集団に受け入れないこと。
エ かわいそうで見るとのびない様子。
オ 思いやりがなく、無情である。

問三 いじめで(カ) 　　　　　(カ) 人間を見て、(キ) 　　　　　(キ) 気持ち。

カ 心をいためる。

キ 精神的に圧力を受け、その場にとどまっていられない。

問四 弱者を（ク）相手に（ケ）をもつて（コ）。

ク 同情や思いやりから親切にせつする。

ケ 身の上や心情に心を配ること。

コ さまざまに注意を払う。

問五 下劣で（サ）な要求に負けずに、立ち向かっていった自分を（シ）思う（ス）。

サ ものごとの道理に合わないこと。

シ 名誉を感じる。

ス 自分を誇りに思う気持ち。

問六 相手の好意を（セ）にしてしまった（ソ）。

セ 無下（むげ）にすること。

ソ 自分の行為に対して、人に顔向けできないという気持ち。

問七 つまらない（タ）や（チ）から相手を傷つけてしまった自分の（ツ）を悔やむ気持ち。

タ 人と比べて自分が劣っていると感じる気持ち。

チ 人に対して嫉妬（しつと）する気持ち。

ツ ばかっていたり、未熟であること。

問八 救えたかもしれない命を自分のせいで失ってしまった(ト) ()から、自分を(ナ) ()、(ニ) ()を感じている。

ト 非常に悔しく思う気持ち。

ナ 対象(相手、この場合は自分)を非常に嫌う気持ち。
ニ なすすべがなく、どうしようもない。

問九 隠していた(ヌ) ()が見つかり、(ネ) ()から何も言い出せず、(ノ) ()気持ち。

ヌ 内緒にしていること。

ネ 心が張り詰めた状態にあること。
ノ 自分に負い目があり、やましく思うこと。

問十 美しい風景に(ハ) ()し、故郷を思い出したことによる(ヒ) ()気持ち。

ハ 心が動かされること。

ヒ 昔の出来事に対して心が引かれること。

問十一 予期せぬ(フ) ()に見舞われ、(へ) ()しまい、(ホ) ()気持ち。

フ おそれること。

へ 冷静さを失い、焦ること。

ホ どうして良いか分からず、焦ること。

問十二 (マ) () からの圧力に (ミ) () をもって屈しない強い (ム) () 。

マ (何らかの共通点を持った) 人々の集まり。

ミ 困難なことを恐れない心。

ム 自分を誇りに思う気持ち。

問十三 人に嘘をつき、だまし、相手を (メ) () と考える (モ) () 気持ち。

メ 人をさげすみ、立場を悪化させようとする事。

モ 下品である事。

問十四 目の前で人が傷つけられているのに、救えなかったという (ヤ) () 気持ち。

ヤ 非常に悔しく思う気持ち。

問十五 人から (ユ) () 言葉をかけられたが、その思いを (ヨ) ()、(ラ) () 気持ち。

ユ 穏やかで思いやりがある事。

ヨ 傷つけたり、台無しにする事。

ラ 無下にする事。

【全文】

- 問一 外国や都会から来た人間を異質な存在としてうとましく思う気持ち。
- 問二 異質な人間を排除し、いじめに加担した自分をみじめで情けなく思う気持ち。
- 問三 いじめで傷ついた人間を見て、いたたまれない気持ち。
- 問四 弱者をいたわり、相手に思いやりをもって気を配っている（配慮している）。
- 問五 下劣で理不尽な要求に負けずに、立ち向かっていった自分を誇らしく思う自負心。
- 問六 相手の好意をないがしろにしてしまった恥ずかしさ。
- 問七 つまらない劣等感やねたみから相手を傷つけてしまった自分のおろかさを悔やむ気持ち。
- 問八 救えたかもしれない命を自分のせいであってしまった無念さから、自分をにくみ、やるせなさを感じている。
- 問九 隠していた秘密が見つかり、緊張から何も言い出せず、後ろめたい気持ち。
- 問十 美しい風景に感動し、故郷を思い出したことによるなつかしい気持ち。
- 問十一 予期せぬ恐怖に見舞われ、慌ててしまい、とまどう気持ち。
- 問十二 集団からの圧力に勇氣をもって屈しない強い自負心。
- 問十三 人に嘘をつき、だまし、相手をおとしめようと考えているいやしい気持ち。
- 問十四 目の前で人が傷つけられているのに、救えなかったという無念な気持ち。
- 問十五 人から優しい言葉をかけられたが、その思いをふみにじり、ないがしろにする気持ち。